JAふくしま未来
2018 April
Vol. 8
発行/平成30年4月27日
ふくしま未来
農業協同組合

つなぐ・つながる

くーがる

GOOGARU

JAを…もっと身近に!!もっと活用!!

JAまるわかり情報

景観を守る



豊かな自然や、美しい農村風景など、
景観の維持も、農業の大切な役割のひとつです。

新たに67人が仲間入り!



4月から各配属部署で活躍中です!

おいしいくだもの



特産の農畜産物をお届けしています。

農業生産



食べた人の、おいしい～
の笑顔を思い浮かべながら、
作り育てています。

食農育活動



食と農の大切さを伝え続けていきます。

新鮮やさい



おいしくて、「安全・安心」+「信頼」を
提供しています。

JAバンク・JA共済



豊かな暮らしと、もしものために。

生活・文化活動



仲間とともに豊かな暮らしを楽しもう!

地産地消



地産地消の拠点・農産物直売所
各地区ならではの特産品は特に魅力です!

6次化商品開発



農産物の6次化で新たな商品価値を!

JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。



農業は私たちのくらしに欠かせない食料を育くんでくれる大きな役割があります。そのほか、農産物を育てる田畑には洪水や土砂崩れを防いだり、暑さをやわらげたり、農村の景観を保全するなどの機能もあります。これは農業の多面的機能と呼び、現代は農家の高齢化や後継者不足の影響でこの機能が失われつつあります。

JAでは、地域と力を合わせて、荒廃地や耕作放棄地などの解消に取り組んでいます。農業を基本とし、安全・安心でおいしい農産物の供給はもちろん、地域に密着したさまざまな事業に取り組んでいます。この機会に、JAをもっと身近に感じていただき、皆様お一人おひとりにあった事業・サービスを見つけていただけたら嬉しいです。

1.営農事業

私たちの食生活の基本となる米、肉、野菜、果物などの農畜産物を供給する農業生産は、農家の大切な役割です。JAは農家に栽培技術の指導・提案、農業機械・機器導入時に助成を行うなど、技術向上に向けた取り組みなどのサポートを充実させ、安全で品質の高いおいしい農産物の生産を促しています。
農家に対してJAは農薬や防除の管理を徹底しているため、安心して食べられる農産物が生産されています。

販売単価2%アップと
生産コスト5%ダウンで
農業所得10%アップ

「みらいろ・テン」運動

① 販売戦略強化

当JAでは委託販売による価格の不安定さを解消するための販売戦略として、量販店や学校給食、レストランなどへの販路を拡大しました。また、ダイレクトメールやゆうパックなどを活用した贈答品の販売も行うことで販売戦略強化に努めています。

さらに、販売促進活動にも力を入れています。昨年度は桃や梨、あんぽ柿などの旬の時期に合わせて直売所で統一イベントを実施しました。ほかにも、首都圏などでのトップセールスや各地区の農産物販売チーム（福島地区SPL（スマイル・プレゼン・レディ）、伊達地区ベジフルコーディネーター、安達地区AAA（トリプルエー）、そうま地区チームMIRAIそうま）のメンバーが市場や量販店などでPR活動を行っています。



量販店で桃をPRする菅野孝志組合長（右から2番目）



3月に直売所で開いたいちごまつり

② 農業生産拡大



べえ子

約4億円を助成し農家をサポート

作付け面積拡大や高品質・安定生産に取り組む農家を支援するため当JAは約4億円の助成金を用意し、農業機械やパイプハウスの導入、作業省力化機器、暖房機器購入など幅広く助成しています。

これにより、農業後継者や新規就農者など就農、組織設立時からの初期投資の軽減などに繋がっています。

新規就農者支援

当JAは各地区に新規就農担当者を設置したほか、農業経営講演会や新規就農相談会を併せたセミナーなどを開催し、新規就農者の支援を行っています。

新規就農についてお考え、相談したい方は下記の番号にご連絡ください。



昨年開いた新規就農セミナーの様子



きゅうりえ介

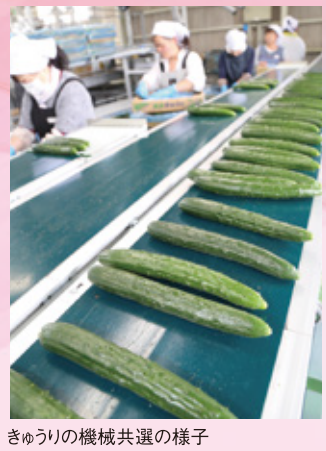
福島市、川俣町にお住いの方
→福島地区本部農業振興課　TEL024-554-5532
伊達市、国見町、桑折町にお住いの方
→伊達地区本部農業振興課　TEL024-575-0114
二本松市、本宮市、大玉村にお住いの方
→安達地区本部農業振興課　TEL0243-33-2739
相馬市、南相馬市、新地町、飯舘村にお住いの方
→そうま地区本部農業振興課　TEL0244-67-2702

2.販売事業

均一した品質の農産物を消費者に届けるため、JAは農家が生産した農産物を集めて出荷します。

まとめて出荷することで数量が確保でき、一度に多くの量を県内外に出荷できるため流通コスト削減につながります。

さらに、品質の高い農産物が揃うことから、いつでもおいしい農産物をみなさんに届けることができています。



きゅうりの機械共選の様子



米は全量全袋検査をして出荷



米え介

③ 担い手支援

JAは組合員の農業所得向上と認定農業者や若手農家とのつながり強化を目指し、各地区本部に**担い手渉外担当者（TAC）**を設置し巡回訪問活動に取り組んでいます。農家の皆さんへの要望にあった提案をすることで農業のサポートや所得増大につなげています





TAC出発式で決意表明する担い手渉外担当者

3.購買事業

農業生産に欠かせない、種苗や肥料、農薬、支柱、パイプハウス、被覆用ビニールなど、さまざまな生産資材を取り揃えています。草削り、鍬（くわ）、作業用手袋、ジョウロなど、家庭菜園にも対応できる商品もありますので、資材店舗等でご相談ください。そのほか、人や環境にやさしい食品や生活用品などの生活資材も取り揃えています。

草刈り機やトラクターなどの農業機械や軽トラック、乗用車の新車・中古車も幅広く取り扱い、点検・整備・修理も行っています。

JA－SSでは、ガソリンや灯油、軽油などの燃料を取扱い、灯油の配送も行っています。

生産コスト削減への取り組み



統一したダンボール

出荷資材の統一

当JAはきゅうり・もも・なし・りんご・あんぽ柿の5品目でデザインを統一したダンボールを作りました。これにより、農家の費用削減につながっています。



オリジナル肥料「みらいろ物語」シリーズ

オリジナル肥料の開発

オリジナル肥料として果樹専用肥料7品目、野菜専用肥料2品目、水稲専用肥料5品目を「みらいろ物語」シリーズとして開発しました。この肥料は各営農センターや資材センターで販売しています。

肥料・農薬重点品目の価格対策

予約価格の地域最安値を目指し、各地区で重点品目を設定し、価格対策を実施しました。

JA葬祭





大切な方との最後の時間。真心をこめてお手伝いさせていただきます。ご自宅葬のほか、斎場葬もご利用いただけます。

葬儀一式、ご法要、供物、お料理、花輪、生花等、ご相談ください。

4.地域・くらしの活動事業

当JAは食農・食育教育活動や健康・福祉活動、文化活動にも取り組んでいます。

食農・食育教育活動

各地区で田植え体験や稲刈り、バケツ稲作り、農業体験、生花教室、小学校への食農教育資材の進呈などを実施し、子どもたちに農業や食の大切さを伝えています。



収穫体験などを行うみらいろアグリ塾

健康・生活・文化活動

健康で潤いある豊かな暮らし・地域づくりを目指し、健康増進活動やウォーキング大会、伝統料理教室、女性講座・女性大学、学習会など女性部組織を中心にさまざまな活動を展開し、知識習得や健康の維持増進、伝統文化の継承、仲間づくりに取り組んでいます。



JA女性部員によるウォーキング大会

6.信用事業

組合員・地域のみなさんなどからお金を預かる貯金と農業振興や生活向上に必要な資金をご融資するのが信用事業です。

①貯める

JAの各支店窓口では普通貯金・貯蓄貯金・定期積金・定期貯金などを取り扱っています。



桃之介

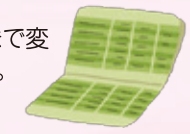
貯金の種類

普通貯金
JAの窓口で自由に出し入れができます。キャッシュカードを使うとJAバンクATMやコンビニエンスストアのATMで出し入れができます。

貯蓄貯金
使い道の決まらないお金を預けて増やしながらいつでも使える貯金です。ボーナスや年金などを普通貯金より有利に運用でき、いつでも引き出せます。

定期積金
自分が決めた目標額にあわせて、毎月の預け入れ指定日に積み立てます。普通貯金からの自動振り替えもでき、積立期間も自由に選べるので、自分の計画に沿った積み立てができます。

定期貯金
一定期間払い戻しをしないことを約束して貯入いただく貯金です。
預入時の利率が満期日まで変動しない確定利回りです。



②借りる

JAでは組合員に対して、マイホームや車、農業機械の購入やお子さまの入学金や授業料などニーズに合わせた融資を行っています。



農業融資
農家経営のための運転資金、農機具等の購入などに対応しています。



住宅ローン
マイホームの購入や増改築等など住宅に関する用途に対応しています。

マイカーローン
新車や中古車の購入、修理や車検費用、バイクの購入などに対応しています。



教育ローン
受験費用や入学金、授業料、アパートの家賃、海外留学費用など教育に関する用途に対応しています。



ローンについて聞きたい、相談したい方へ

当JAは、ローンセンターを各地区に設置し、お客様のご相談に丁寧に対応しています。日曜日も営業していますので、お近くのローンセンターまでぜひお越しください。



福島地区ローンセンター
福島市泉字堀ノ内6-2
TEL 024-555-0840

伊達地区ローンセンター
伊達市保原町下野崎5-1
TEL 024-575-0556

安達地区ローンセンター
二本松市成田町1丁目821-1
TEL 0243-24-1127

そうま地区ローンセンター
南相馬市鹿島区横手字川原185-1
TEL 0244-46-2234

営業時間／8:30~17:00　定休日／水・土曜日

5.旅行事業

組合員や地域の皆様に、「楽しみ」「生きがい」「仲間づくり」をご提供し、ご満足いただける「旅」のお手伝いをさせていただいています。

バスやJR、航空などの交通や、旅館やホテルなどの宿泊、観光地施設などの入館・入園・食事などの手配から、個人・小グループ・団体などの旅行プランの作成、企画・パッケージ旅行（国内・海外）のご提案など、お客様のニーズに合ったさまざまな旅行のご相談・ご提案をさせていただきます。



7.共済事業

JA共済は「ひと・いえ・くるまの総合保障」（生命保障と損害保障）を提供しています。当JAはJA共済の窓口として各共済の提案や手続きを行っています。

ひとに関する保障

終身共済
一生涯にわたって備えられる万一の保障が確保できます。万一のとき、手厚い一時金が受け取れます。

医療共済
日帰り入院から長期入院などを保障しています。先進医療にも備えられる医療保障です。

介護共済
公的介護保険制度と連動した保障です。介護共済金（一時金）は自宅の改修などの初期費用に役立てられます。

こども共済
高い貯蓄性と保障が備わった共済です。学費の受け取りは、中学、高校、大学プランから選べます。

養老生命共済
貯蓄しながら備えられる万一保障です。満期時にはまとまった満期共済金を受け取れます。

がん共済
がん診断時や再発時、長期治療のとき、まとまった共済金を受け取れます。

予定利率変動型年金共済
年金額の増加が期待できる共済です。条件を満たすことで個人年金保険料控除が受けられます。



などご自身の生活に必要な保障が揃っています。

いえに関する保障

建物更生共済　むてきプラス
火災はもちろん、台風や地震などの自然災害にもしっかり保障されます。さらに火災や自然災害によるケガの保障や満期時には満期共済金を受け取ることができます。

くるまに関する保障

自動車共済　クルマスター
自動車の事故による賠償やケガ、修理などに備える保障です。クルマスターは相手方への保障、ご自身とご家族の保障、自動車の保障の3拍子揃った共済です。

JA共済はお近くの支店でお申込みいただけます。お近くの支店が分からない方は当JAホームページをご覧ください。

8.介護福祉事業

当JAでは医療・介護・予防・福祉が一体的に提供できる体制作りを行っています。

介護福祉事業で行っているのは居宅介護支援や訪問介護、ヘルパー派遣です。地域によっては、デイサービスセンターでの自立支援や訪問歯科診療なども行っています。





訪問歯科診療を行うJA歯科医院もとみや

農産物直売所



管内には当JAが運営する直売所12店舗があり、安全安心な農産物の供給や地産地消に貢献しています。各直売所では旬の野菜・果物などに合わせたイベントや全店舗統一イベントを開催しています。

さらに、今年3月から直売所のポイントカードを統一した「みらいろポイントサービス」を始めるなど利用者の方々が使いやすい直売所を目指しています。

今年のG・W（ゴールデンウィーク）もイベントを開催します!!

ゴールデンウィーク期間中のイベント開催予定

福島地区

ここら全店

GOLDEN WEEK



4月28日(土)～5月6日(日)

日和ジュース(もも、なし、りんご)
120円(税込)→**100円**(税込)で販売



吾妻の輝き(玄米)　**大特価**

新発売「未来彩」イチゴジャム
(イチゴミルク、イチゴジャスミン)の試食



5月5日(土)子供の日
店舗内の塗り絵をしたお子様に
日和ジュース1本プレゼント!

伊達地区

みらい百彩館んめ～べ



4月27日(金)～29日(日)　わかめ量り売り

28日(土)・29日(日)　みそすくいイベント

30日(月)　からあげまつり

5月 3日(木)　肉まつり

4日(金)　トマト苗プランター植え付け教室

5日(土)　手作りかしわ餅教室

6日(日)　パフェ作り教室



※各対象商品・体験教室等は数量限定、定員制となりますので予めご了承願います。

安達地区

こらんしょ市二本松店



4月28日(土)　月末の市

29日(日)　福島県産牛と麓山高原豚の**試食販売**
14:00まで

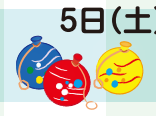


30日(月)　月末の市

5月 3日(木)　ガラポン大会

4日(金)　大人の日　当JA6次化商品の日本酒「おらが純米」など**試飲販売**

5日(土)　ミニ縁日　ミニヨーヨーすくいや水鉄砲射撃など 12:00まで。



そうま地区

旬のひろば・ふれあい旬のひろば

5月 3日(木)・4日(金)
地元企業による
海産物加工品販売



5月 3日(木)～6日(日)
野菜・果物を
特別価格で販売





※すべてのイラストはイメージです。

スマホアプリをダウンロードして、直売所のイベントや旬の食材をチェック!

JA旬みっけ!



これは、便利!

「JA旬みっけ!」はお近くのJA農産物直売所を登録すると、イベント情報などがすぐに分かります。もちろん当JA直売所のイベント情報もゲットできます!!

さらに、アプリ内では100種類を超える野菜・果物の旬の情報や毎日の食事に役立つ内容が無料で読み放題!

この機会にぜひダウンロードして、おトクな情報をゲットしてください!



JA旬みっけ! をご利用になるには

スマートフォンのアプリストアで「JA旬みっけ!」を検索

QRコードでかんたん検索
QRコードリーダーを起動して、下記のQRコードを読み取って下さい。

アプリストアから検索
アプリストアの検索画面から「JA旬みっけ!」と検索して下さい。

JA旬みっけ!

App Store　Google Play

分かりやすい画面表示!

農産物直売所一覧



ここら矢野目店
福島市北矢野目字原田東1-1
TEL 024-552-5881

ここら吾妻店
福島市在庭坂字薬師田1-1
TEL 024-592-1088

ここら大森店
福島市大森字西ノ内71-1
TEL 024-544-1766

Yショップここら西店
福島市さくら三丁目1-6
TEL 024-593-1422

ここら黒岩店
福島市黒岩字北井14-1
TEL 024-544-0860

ここら清水店
福島市南沢又字前田7-3
TEL 024-555-6641

ここら川俣店
伊達郡川俣町大字鶴沢字東13-1
TEL 024-566-2670

みらい百彩館んめ～べ
伊達市雪車町19
TEL 024-551-2223

こらんしょ市二本松店
二本松市杉田駄子内6-1
TEL 0243-62-4218

こらんしょ市本宮店
本宮市本宮字戸崎41
TEL 0243-63-2822

旬のひろば
南相馬市原町区錦町1-13
TEL 0244-22-2860

ふれあい旬のひろば
相馬市尾浜字細田241-1
TEL 0244-38-6311

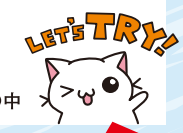
みらいろクイズ

Q 担い手農家を支援する担当者は次のうちどれでしょう?



1. TAC
2. TAS
3. ATC

ヒント：営農事業の中



正解者の中から抽選で10名様にJAオリジナルキャラクターグッズをプレゼントします。

【応募方法】
はがきに①クイズの答え②郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢③「ぐ～がる」を読んだ感想、今後読んでみたい企画、JAに関するご意見・ご要望をお書きのうえ、下記の宛先までお送り下さい。

【送り先】
〒960-0185
福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「ぐ～がるプレゼント係」

【送り先】
平成30年5月14日(月)必着



※応募頂いた方の個人情報は、目的以外には使用しません。なお、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

地域に根差したJAを目指して創造的自己改革実践中!

NO! 国がすすめる農協改革 POINT

日本農業の構造

農業就業人口の減少や高齢化、耕作放棄地など日本農業の構造変化はJAが悪者とされていますが、それはWTO(世界貿易機関)への加盟などを進めてきた農業政策の誤りです。今後は大規模・家族農業・生きがいのある農業など多様な担い手の育成や魅力ある農業の創造が必要です。

JAの挑戦

「安全・安心な農畜産物の安定供給をはかること」「より良い環境を未来につなぐこと」が私たちJAの使命です。

現在、当JAは ①農業者の所得増大 ②農業生産の拡大 ③地域の活性化の3つを基本目標として掲げ、その実現のため創造的自己改革に取り組んでいます。

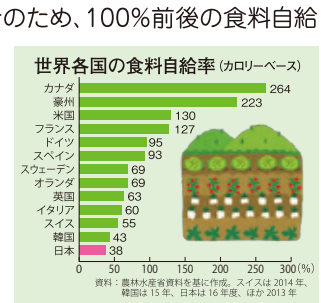
中面で紹介した「みらいろテン!運動」がそれにあたります。今後、全組合員を対象にアンケートを実施する予定です。

JAはTPPに反対!!

日本の食料自給率はカロリーベースで38%まで低下し、先進国の中で最低レベルです。日本の食料は外国からの輸入に頼っているというのが現状です。しかし、この現状がいつまで続くか分かりません。世界的な食料不足に陥れば日本の食は枯渇します。

欧米では国策として農業保護に力を入れており、EUは補助金率95%にもなります。(日本は15%)そのため、100%前後の食料自給率を確保しています。(右表)

国民の命・環境を守っている農業を支えるのは欧米ではあたり前ですが、日本はそうではありません。これがTPPによってさらに輸入農産物が国内市場に出回ることは、日本の農業だけでなく私たちの暮らしにも影響が及ぶと懸念されるため、JAはTPPに反対しています。



農協改革の狙いやTPPの影響

- 農協改革の狙いは「大資本による農業」。市場原理の農村地帯の浸透であり、農家利益、農村文化・伝統・国土を守るものではない。
- 水田等農地の持つ環境保全等多面的機能の維持が出来なくなり、豊かな自然・景観が失われる。
- 輸入農産物のリスク：遺伝子組み換え、成長ホルモン、成長促進剤、除草剤残留、防腐剤・防カビ剤等ポストハーベストです。

日本の食を守るためには地産地消が大切です。地域食糧自給率をあげて、地元農業を応援しましょう!

つなぐ・つながる くーがる GOOGARU Vol.8
未来への 心をつなぐパートナー
“農をはぐくみ 地域をつなぐ”
発行：ふくしま未来農業協同組合　福島市北矢野目字原田東 1-1
編集 / 企画部広報課　TEL024-573-7121　http://ja-f-mirai.or.jp